

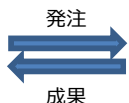


背景・目的

- (1) G7富山環境大臣会合及びG7伊勢志摩サミットで定められた「**富山物質循環フレームワーク**」を踏まえ、また、**循環基本計画の改定**に向け、我が国の循環型社会施策をフォローアップ。
- (2) 同計画の中でも、特に、既存の各省ごとの取組では対応困難である2R（リデュース・リユース）や地域循環圏について、**3Rの取組を切れ目なく行い、3Rを深掘り**。
- (3) 循環型社会の総合的・横断的な普及啓発により、**ライフスタイル・ビジネススタイルを変革**。

事業スキーム

環境省
(施策の検討)



請負事業者
(調査等の実施)

事業概要

- ①循環基本計画のフォローアップ・発信（循環型社会の現状・課題把握）
- ②2Rに係る総合的な評価・分析（リデュース・リユース社会の構築）
- ③リユースモデル事業の実施（リユースビジネスの育成）
- ④地域循環圏高度化に向けた支援（地域特性を活かした多様な3R）
- ⑤3Rの取組を促す普及啓発事業
- ⑥循環型社会形成に向けた情報提供事業

期待される効果

経済成長と資源消費・環境負荷がデカップリングした循環型社会の形成、それに伴う低炭素化や循環産業の育成、経済・社会への好影響。

事業目的・概要等

富山物質循環フレームワーク（概要）

- 目標1：資源効率性・3Rのための主導的な国内政策
- 目標2：グローバルな資源効率性・3Rの促進
- 目標3：着実かつ透明性のあるフォローアップ



①循環基本計画フォローアップ

定量的に循環基本計画のフォローアップを行い、政府の3R取組状況の現状把握と課題抽出、海外へ発信・共有



※近年、資源効率性（GDP/天然資源等投入量）は横ばい⇒2Rの促進や地域循環圏の強化が必要

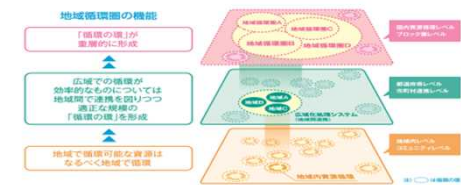
②・③2Rに係る総合的な評価分析・モデル事業等

- ・2R（リデュース・リユース）が進む社会経構築のための実態把握と制度的検討
- ・2Rをビジネスベースで進めるためのモデル事業を実施
- ・リユース品を安心して使えるような環境整備や、業界と協力したキャンペーン、公共調達促進の促進。



④地域循環圏高度化

- 地域特性に応じた地域循環圏構築のため、
- ・人材育成事業・金融機関との連携
- ・効果分析
- を有機的に行い、地域循環圏の実装を図る。



⑤⑥循環型社会形成に向けた取組促進事業

- 3Rに係る国民・事業者・行政の意識の変化を具体的な行動の変化につなげ、ライフスタイル・ビジネススタイルの変化を促す。



イメージ